

# 歯科技工士会の国・県・市への要望を

## 愛知県歯科医師会にご相談する会

副題；歯科医療を支える歯科技工士の

存続について意見交換

2025年11月20日（木）11時～歯科医師会館

三品理事長・林副理事長・戸高事務局長

歯科医師連盟 池山会長・寺倉理事長

### 【今現在思いつく国・県への要望】

- ・とりあえず声を大にして保険点数のかさ上げを行い、歯科技工士の待遇改善を図る。
- ・利益が相反するような条件下で歯科医師に歯科技工士の待遇改善を求めることに無理を感じる。
- ・歯科技工製作点数の向上を国に求めて仮に上がったとしても、歯科医師側から歯科技工士に支払う金額がどのように変化するかは未知数。
- ・県への要望書が誤解を招き、議員からの圧力を好ましく思われていない可能性があるため、歯科技工士側が歯科医師会の技法を学びたいとの意見。

### 【今後起こりうる歯科技工業界の方向】

1. 歯科技工士の減少
2. 機械化の進展
3. 納期の延伸
4. 技工料金の上昇
5. 利益相反の現状を変える試み（例：「概ね7対3」などの改善策）

### 1 歯科従事者確保に向けた取り組み（歯科医師会）

歯科医師会は、歯科衛生士・技工士・歯科助手などの志願者を増やすため、チラシを制作し、様々な場面で配布する計画を進めている。

- ・宣伝力は必要だが、広報活動には費用がかかるという課題がある。
- ・雇用の継続を会員へ呼びかけ、スタッフを大切に扱うことで、スタッフからの紹介による採用（リファラル採用制度）を期待している。
- ・リファラルリクルーティングの促進。

特に歯科技工士を大切にする姿勢を強調する。

- ・技工士不足への対策としてのメッセージ発信。

中日新聞の「職業案内」コーナーに4月以降に掲載する方向で進んでおり、広く国民への認知を高めるメディア戦略を準備している。

## ② 歯科医療報酬制度への問題意識

歯科診療点数について、病院は手厚く、診療所は適正化されている状況がある。

池山先生の見解：

- ・歯科本来は他業種と同じように“自然と淘汰されるべき”領域だが、国により守られてきた側面がある。
- ・歯科の料金はタイと同じレベルであり、この問題は国民にも理解を得る必要があるため、メディア戦略が重要。

## ③ 歯科技工法改正の必要性

池山先生の重要な提言：

- ・歯科技工士法の改正が必要。
- ・職域を拡大し、口腔内の作業を許容することで、それに対して点数をつけるべき。
- ・医療従事者としての位置づけを明確にし、それが待遇改善につながるとの見解